

令和8年西条市議会 6月定例会

●藤井武彦議員 代表質問

【学校再編に対する考えについて】

(質問内容)

○ 学校再編については、令和6年度に審議会から答申を受けて、教育委員会で議論をすすめているところであるが、市長として審議会からの答申書をどう受け止め、どのように学校再編を進めていく考えか問う。

(答弁内容)

○ 少子化の進行により、本市においても児童生徒数の減少が続いている。合併当初の平成16年には、小中学校の児童生徒数は10,133人となっていたものの、令和7年には7,507人となり、20年間で約26%が減少しており、令和17年度には6,260人、令和32年度には5,089人までに減少すると推計されている。

○ 文部科学省が基準とする学校規模は、小学校で1学年2学級以上、中学校で1学年4学級以上とされており、現在、小学校では16校、中学校で2校が小規模校及び過小規模校となっており、今後も小規模化は進行していくものと予想している。

○ 学校教育の本質は、児童生徒が集団の中で多様な考えにふれ、相互に認め合い、協力し合いながら成長していくことが重要であり、そのためには一定数以上の児童生徒が在籍する学校規模が求められることから、本市においても、学校再編の重要性は認識しているところである。

○ 教育委員会では令和6年度に「西条市学校適正規模・適正配置等審議会」を設置し、学識経験者や地域関係者からなる多様な視点を基に、今後の学校教育のあり方について慎重に議論を進めてきた。

○ 審議会では、児童生徒の教育環境を最優先とし、学校の将来的な課題に対する適切な対応策や具体的な意見がまとめられた。答申書が提出され、教育委員会は学校規模の適正化に向けた取り組みを進めることを決定した。

○ その後、保護者や地域住民への説明会を経て、令和8年4月に「西条市立小・中学校の適正規模及び適正配置に関する基本方針」を公表し、パブリックコメントを実施している。

○ 今後、教育委員会では、「西条市立小・中学校の適正規模及び適正配置に関する基本方針」「基本計画」を順次策定し、本年度中には「地元協議会」を立ち上げ、協議を進めて行く予定である。

○ 市長としても、子どもたちにとって望ましい教育環境の実現や、質の高い教育の充実を図ることは重要であると考えており、地域住民との対話を適切に行いながら、学校規模等適正化に向けた合意形成を図ってまいりたい。

○ また、総合教育会議などを通じて、教育委員会と密接な連携を図り、順次可能な範囲から、「地元協議会」において、具体的な学校再編の時期や手法についても、協議を重ねていきたいと考えている。

○ いずれにしても、西条市の児童生徒が「魅力ある質の高い教育」を受けることができる学校づくりに向けて、鋭意努力を続けてまいりたい。

●真鍋顕伸議員 代表質問

【学校規模等の適正化へ進む地域づくりについて】

(質問内容)

○ 市長は今後、小中学校の適正化が進んでいく中で、地域づくりをどのように整理し、どのような方針で進めていく考えか、お伺いしたい。

(答弁内容)

○ 少子化が急速に進行する中、子どもたちが多様な考えに触れ、切磋琢磨しながら社会性を育むことができる教育環境を早期に整えることは、先送りの許されない極めて喫緊の課題であると認識している。

○ その中で最優先課題である小中学校の適正化については、今後、その時期や再編の具体像を明確にしていく必要があり、「西条市学校適正規模・適正配置等審議会」で示された答申に基づき、子どもたち一人ひとりの学びを守るという観点から、確実に進めていくべきであると考えている。

○ 子どものために、地域とともに、よりよい学校のあり方を築いていくためには、子どもを真ん中に、通学・放課後・地域の安心までセットで考える必要がある。学校の適正化は、単に学校の数を減らすことだけではなく、子どもたちにとってよりよい教育環境をどう確保するかが重要であると考えている。

○ 通学の負担や放課後の居場所の問題、地域とのつながり等、これらの諸課題について、丁寧に対話を進めていかなければならない。そういった意味では学校の適正化と地域づくりは関わりがあるといえる。

○ 一方で、本市が推進している地域づくりは、西条市地域コミュニティ基本指針に基づき、地域における団体や住民による話し合いを重視することとしている。そのような話し合いや連携を行う仕組みとして、これまで地域自治組織の設立を推進しているが、これは、学校の適正化とは関係なく、それぞれの地域が持つ特性や歴史を尊重しながら、市民の自主性を育み、一人ひとりが行動を起こすことによって、将来にわたる持続可能な地域社会の構築につながるとの考えで推進しているものである。

○ 子どもの教育環境を守ることを最優先として、学校の適正化後の地域づくりや、学校跡地の有効活用等、今後、地域の皆様との対話による意見を取り入れながら、さまざまな課題に取り組んでいく考えである。

○ 市民の皆様が安心して暮らし、地域に貢献したい人々が主体的に関わり合える魅力ある地域づくりに向けて、地域住民と真摯に対話を重ねながら確実に進めてまいりたい。